

性虐待： DV家庭で育った子ども。小学生の高学年で父親にレイプを受ける。高校卒業後家出。現在は民間支援団体のサポートを受けながら就労中。パニック障害などで精神科に通院中。

性虐待がいつから始まったかはわかりません。気がついた時には、毎晩父親の布団に引きずり込まれていて、「かわいがっている」と言われてそう思っていました。小学校高学年の頃セックスをさせられて、初めて変だと思いました。母親に話しましたが、母も父から長年暴力を受けていて何かできるような状態ではありませんでした。父親にされていることの意味が分かっている、父親が怖くて逆らえませんでした。人には絶対言えないことなので、だれにも相談しませんでした。高校生の時に家出をしましたが、父親に連れ戻されました。父親の性的奴隷のような生活をさせられ、大学にも行かせてもらえませんでした。ようやく19歳の時、恋人を作り、脱出することができて、あちこちのサポートグループを転々としました。家出した後パニック障害、対人恐怖などを発症し、今もリストカットや自殺願望がなくなり精神科に通院しています。支援団体のアドバイスを受けて、父親を刑事告訴しました。姉も父親からの性虐待を受けていたことが最近分かりました。

生活保護を受給しているため病院の診察費は無料

民間のカウンセリングルーム 通常は1回5000円だが、ルームが赤字覚悟で500円に減額。アルバイトができるようになったときには1回2000円になったので年間10万円支払った。

レイプ： 当時17歳。高校の教師からのレイプ。不登校となり高校中退。5年経った現在も通院中。

高校のバレーボール部の合宿中、信頼していた担当の先生から呼び出されて、空いている部屋に押し込まれてレイプされました。「誰にも言うな」「メンバーから外すぞ」と脅かされたのと、頭が真っ白になってしまい、逃げたり抵抗したりできませんでした。どうしたらいいか分からなかったし、県大会を前にして、エースアタッカーだった私は、メンバーから外さ